

若者まちづくり会議



(H30-第1回) を開催しました

平成30年10月21日(日)ふれ愛支援センターにて

自由な雰囲気で見聞が言える場をつくり、若い人たちの新たな視点や発想を市政に反映させる機会を増やそうと始めた「若者まちづくり会議」も今年で6年目。

9月に市内小学6年生を対象に開催した若者まちづくり会議「キッズバージョン」で出された意見をもとに、「未来をつなぐ」を開催テーマとし、3つのグループに分かれ、第1回目の話し合いを行いました。

なお、今回は南魚沼市内で地域実習を行っている、大正大学地域創生学部の1年生8名にも参加していただきました。



◆わかまちカフェのこれまでの取組み・今回のテーマの趣旨説明

事務局から、わかまちカフェの取組み経過と今回のテーマなどについて説明がありました。

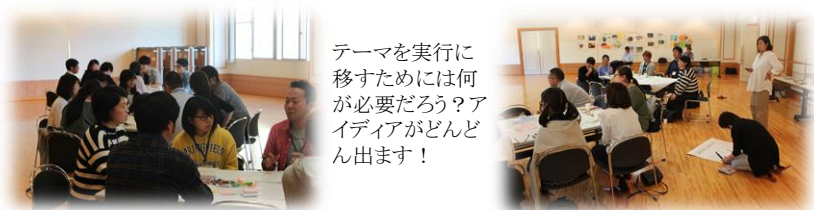
◆本日のワークショップの説明

ファシリテーターの(一社)まちネット育ちの種 川島さんからワークショップの方法やその効果について説明の説明がありました。

◆3班に分かれてワークショップの開始です!

- ・1班 働く世代の仲間づくりの場を作りたい
- ・2班 兼業農家を続けてほしい
- ・3班 若者が集まる場所で南魚沼産をPR

上記のテーマについて、現状・目指したい姿・課題・意見・アイデアを話し合います。



テーマを実行に移すためには何が必要だろうか? アイデアがどんどん出ます!

◆プチ発表

現状・目指したい姿・課題・意見・アイデアを話し合った後、プチ発表を行います!

プチ発表の後に課題・アイデア・意見の中から取り組んでみたいと思うもの自分の名前を書きこみます!



◆参加者が取り組んでみたいと思ったアイデア

- ・1班 働く世代の仲間づくりの場をつくりたい
 - アイデア① コーヒーハウス風のテーマ別社交場を作る!
- ・2班 兼業農家を続けて欲しい
 - アイデア① ソーシャルメディアを使ってアピールする
 - アイデア② 学生に農業体験をしてもらう
- ・3班 若者が集まる場所で南魚沼産をPR
 - アイデア① 様々なコンテストを実施し、南魚沼産コシヒカリをPR
 - アイデア② スキー場の新たな活用方法を考える

◆ファシリテーターまとめ

ファシリテーターの川島さんから全体のまとめと今後の流れの説明があり、今回は終了となりました。

次回の11月4日は上記の3つのテーマ、アイデアについてグループごとに深掘りし、行動計画表を作成します!

また今年度は実際に出されたテーマを実行することを目標に活動していきます!



□ 1班で出たアイデア

働く世代の

仲間作りの場を作りたい

○ コーヒーハウス風 テーマ付社交場

・ テレビやラジオがない頃のロンドンで、紳士が情報交換

・ 市内の働く世代が情報交換する場所 = 出会うの場

・ 事前にテーマを決め、市内のそのテーマ^{に詳しい}の人が
プレゼンし、それを聞いて参加者が情報交換

(※国際大学の先生にファシリテーターをお願いしたが、
日本人の先生が少な…)

・ テーマは「郷土料理」「国際交流」「地元で働く」etc

・ 高校生に対して、事前の地元魅力学習の場とした…が
やりた…ことがわからず…ので参加する…かを(課題)

・ 会場は市役所 情報発信や欲しい情報を
受け取る場所にする。

2班で出た意見

【目指すまちの姿】

2 兼業農家を続けてほしい

現状はどうなっている？	10年後にあなたが 目指したい南魚沼市の状況は？ (具体的に)	課題・アイデア策
<p>若者の農家を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をする若者が年々少なくなっている ・農業を継ぐ人はいない ・南魚沼市は米が美味しい ・農家の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をする人が増えているまち ・今よりもっとコンシカリが有名なまち ・農業が盛んになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を継いでくれる人を探す ・農業をする人を集める
<p>若者の農家を増やそう</p>	<p>10年後にあなたが 目指したい南魚沼市の状況は？ (具体的に)</p>	<p>課題・アイデア策</p>

(Note: The table above summarizes the main content. The actual image shows a large sheet of paper with handwritten notes and sticky notes in various colors (green, yellow, pink, blue) attached to it, providing detailed feedback and ideas.)

□ 2班で出たアイデア

② 兼業農家を続けてほしい

- ソーシャルメディアを使ってアピールする。
ソーシャルメディアを通して、たくさんの人たちがつながり、
その機会を南魚沼市で行ったり、
農業にかかわるイベントを行う。
TikTokなどを行う。

- 学生に農業体験してもらう。
作るだけでなく、売ることも体験してもらう。
農家と提携して、売ることでお互いwin-winの関係になる。
提

□ 3班で出たアイデア

アイデア①

様々なコンテストを実施し

南魚沼産コシヒカリをPR

- ・コシヒカリに合うおかずコンテスト
- ・お米に飯た人コンテスト
- ・和米
- ・ミスタ-コシヒカリコンテスト

アイデア②

スキー場の新たな活用法

- ・インスタ映えを狙ったスキー場のレインボー化
- ・スキー場以外施設を作った

□ 参加者の感想・ふりかえり

—参加者から—

【あなたが今日、学んだことは？】

- ・南魚沼という地域について+面や-面などいろいろな視点で見ることが出来て、今後にある報告会に役立てるなどと思いました。
- ・地元の方や市役所の方が南魚沼に人呼び込もうと様々な取り組みをされていて参考になった。
- ・南魚沼市の現状を聞くことが難しいなか、今日は地元の人話を聞くことが出来て良かった。
- ・地元の方々とワークショップをする機会はなかなかないことで、自分が予想していなかった意見が聞けて、とても有意義な時間となりました。このような交流会がこれからも増えていったら良いのではないかと思います。
- ・10年後を想像する時にプラスとマイナスで考えること。
- ・南魚沼も栄えている印象だったが、実際はどこの地域も抱えている問題は変わらないのだということ。
- ・兼業で農家をやっている人のリアルな声。
- ・若者の意見をみんながほしいんだなあと思った。
- ・テーマに沿った意見を出すこと。少しでも意見が出始めれば、どんどんアイデアが出てくるものだと感じました。
- ・兼業農家の現状。意見のまとめ方。
- ・そもそも市の現状や課題がよくわかっていなかった。こんな課題があるのかと、考えることが出来てよかった。
- ・10代の学生さんたちのアイデアや思いのすばらしさ。地元でない人たちも、こんなにもいろいろ考えて、意見を出してくれるんだ、ということ学びました。
- ・意見の集約。
- ・SNSと一言で言っても、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど、いろいろなものがあり、流行り廃りがあることを知った。
- ・同じような悩みを持つ人と出会えたこと。
- ・同じような考え方もいろいろな角度で見られる方法があるのだなと思った。
- ・まちづくりで大切なことは、南魚沼の充実だと思いました。ここで出されたたくさんの方の意見が実現できるといいなと思いました。
- ・自分が住んでいる南魚沼市には良いところとそうでないところがあることがわかった。

【あなたが今日、よかったこと、残念だったことは？】

- ・良かったことは、大人の人たちと意見交換をできたこと。残念だったことは、参加者全員と話ができなかったこと。
- ・南魚沼市役所の方々と意見を交換し合えたこと。新しいイベントを思いついたこと。1ターン移住した方の話を聞いたこと。
- ・今自分たちが南魚沼市に抱えているマイナスな印象を実際に住んでいる人も同じように持っていることが知れて良かった。
- ・飲食可能という自由な環境のなかでのワークショップは普段言えない意見が言えたりしてとても良かったです。
- ・住民の方と話すことができて良かった。ただし市役所の方しかグループにいなかった。持続性が見られなかった。
- ・南魚沼の人達とつながれたこと。今後あまり会っては話せないの形にしていくのが難しいのが残念かなと思う。
- ・話しやすい雰囲気よかった。話し合いの時間が少ないのが残念だった。
- ・長期的なつながりが出来る気がする。
- ・学生の意見をたくさん聞くことが出来た。もう少し、深掘りした内容の意見が出るとうれしかった。
- ・学生さんの考えを聞いて良かった。普段あまり自分では考えることのないことを考える時間になって良かった。
- ・様々な人の話を聞いて、新しいことを学ぶことが出来たのはよかった。参加者がもっとほしかった。
- ・普段交流することのない人達ともたくさん意見交換ができたこと。ファシリテーターとして話を進行していくことがとても難しかった。
- ・テーマについて知識がなかったので、スタートが難しかった。
- ・若い人の意見を聞いて新しい情報を知ることができた。
- ・みんながアイデア実現に向け、進んでいく一体感がよかった。アイデアには世代間格差がある。自分たちが良いと思っても、若い人には刺さらないことがあることがわかった。
- ・地元を出て学んでいる学生の意見が聞けて良かった。
- ・市に20~30代が意見を言える場を作ってもらえたことがとてもうれしかったです。
- ・大学生と会うことが出来てよかった。また参加したいです。

【その他、言い残したことは？】

- ・今回の会議は内容も濃く良かったと思います。主催者の方に感謝です。
- ・プライベートで南魚沼へ来たいなと思いました！
- ・今後はテレビ会議のような形で参加してみたい。
- ・このような取り組みが多くなり、アイデアがたくさん出てくると良いと感じた。
- ・思っていた以上に時間があっという間に過ぎて驚きました。楽しかったです。
- ・特にありませんが、楽しかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・皆さんしっかりと考えを持ってすごいと感じた。
- ・このような機会を重ねて、どんどん参加する人が増えるといいなと思いました。
- ・参加者が少なく、もっと市民参加が増えれば良いと思いました。
- ・計画を実行するために、具体的に何をすべきか、まだ話していないため、次回の課題としたい。
- ・浦佐駅の活性化について話し合える場があると良い。